

魁 ニ ュ ー ス

明けましておめでとうございます。

昨年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

昨年日本経済は活発な設備投資や個人消費の高水準により引き続き好調に推移しましたが
湾岸危機発生後の高金利政策に株をはじめとしたバブルが消え、漸く変化の兆しを見せ
るようになってきました。いざなぎ景気の57ヶ月をはたして上回るかどうか今の勢いが
続けば長寿好景気の新記録になるそうですが微妙な処にきております。その頃までは何とか
持ちそうな感じがするのですが、湾岸問題がどう展開するかでかわりますので何とも言え
ません。しかし10年位の大きいトレンドでみた場合、日本経済はまだ好調を持続すると
みてよく本年後半多少下降線を辿るとみられますが深刻な不況がくるような下降ではなく
、次の飛躍のために腰をおとすと比喻できるものではないかと思えます。人手不足は慢性
症状であり、私共の取り扱う商品は重く体の汚れるもので3Kに入る商品ですから仲々人
材確保は容易ではありません。人材難時代を克服するためにしなければならぬ課題が山積し
ておりただ手を拱ねているわけにも参りません。私達は本年も精一杯頑張りますので本
年も何卒御指導ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます新年のご挨拶にかえさせて
いただきます。

☆ 1 月 の 魁 基 準 建 値 は 3 8 1 円 で す

昨年12月の電気銅建値は1~20日370円、21~31日380円で推移し平均銅価
は373円でした。本年1月の建値は390円でスタートしました。従って1月の魁基準
建値は $(373 + 390) \div 2 = 381$ 円50銭となり円未満切捨て381円となります
。価格帯は前月同様350円超400円以下の欄で変わりません。

魁 ニュース

1月17日に始まった湾岸戦争は当初の予想と違って長期化の様相を示してきました。中近東は私達には石油を除いて余り詳しいことを知る機会も少なく縁遠い存在でしたが、ここ暫らくは湾岸戦争のニュースが多いので中近東の国名や地図も頭に入り私達との距離も少々近くなりました。しかしイスラエル、パレスチナ人、石油等紛争の種が山積しそれが米ソ問題とも深くかかわっていると聞きますとあまりにも複雑でわかりにくく湾岸戦争が今後どうなるのか、またこの戦争が何らかの形で収拾されたあと中近東はどうなっていくのか等という問題になりますとまったく判らないところです。少しでも歴史的背景も知りたいと思い本屋の店頭で近頃たくさん並ぶようになった中近東関係の本を買って読んでみました。それですべてが判るほど単純なことではありません。むしろ益々混迷して判りにくくなってしまったとさえ言えます。クエートは四国と同じ位の面積で国名と首府名が一緒でクエート国マイナスクエート市イコールゼロという生活実感のする都市国家的な（例えばシンガポールのような）国ですが、ゼロというのは実は砂漠で砂漠の下には世界有数の石油が眠っているわけで別名石油の上に浮かぶ国といわれる由縁です。クエートを含め中近東一帯は北アフリカを含めオスマントルコ帝国が支配していた処ですが19世紀末にイギリスがインドへの道を確認するためクエートの現在の首長であるサバーハ家をそそのかして独立させ英国の保護領にしたのがこの国の生まれであります。油田の発見はそう古いことでなく1938年頃ですが、これがサウジアラビア、イラクにつぐ大規模な油田であることから石油生産をめぐる利害と利権協定による様々な紛争を生むことになっていきます。第二次大戦後は中近東一帯に於ける英仏の支配力が後退し米ソの影響が強くなってきます。アラブ民族の独立意識、パレスチナ人問題、米国の後押しをうけたイスラエルの領土問題等もからみレバノン内戦やイランイラク戦争等さまざまな紛争が続いてきたことは皆様もご承知の通りであります。新デタントの時代がきてイラクは一夜にして武力でクエートを自国の領土としてしまいました。国連は之を無効とし原状復帰を決議しました。イラクのアラブ民族独立勢力が強大になっていくことを抑え更なる侵略を防ぐためアメリカが多国籍軍編成の中心となって湾岸戦争が始まりました。いずれこの戦いは終止符を打つときがきましようがそれでこの中近東をめぐる紛争が解決するものではありません。中近東に住む民族の民族運動のチャンピオンとしてのフセイン人気は非常に強く、反面宗教や人種の異なるイスラエルの覇権主義への反発、地下資源は神に属し私的所有権の対象にならないイスラエル教理等、現実との矛盾が中近東を揺るがす原動力として今後も様々な問題を惹起してくると考えられます。

第二次世界大戦に於ける戦争の悲惨さを味わった日本人も戦後45年をへて少なくなってきましたが今日の平和と繁栄が何によって齎らされてきたかをよく考えてみる絶好の機会のように思います。安保タダ乗りとか平和を金で買うとかいろいろ言われています。もうけた金でゼイタクをしていると非難をうけないように世界の平和のために日本人みんなが考え行動する必要がせまられているのではないのでしょうか。

今日は立春です。

暦の上では春になりましたがまだまだ風も冷たく厳しい寒さが続きます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

☆ 2月の魁基準建値は368円/kgです

1月の電気銅建値は4～15日390円、16～21日380円、22～24日370円、25～31日360円で平均銅価は376円84銭でした。12月の平均銅価は373円でしたので平均銅価は前月より約4円の値上がりです。2月の電気銅建値は360円据え置きでスタートしましたので従って2月の魁基準建値は $(376.84 + 360) \div 2 = 368$ 円42銭となり円未満切捨て368円となります。価格帯は前月同様350円超400円以下の欄で変わりありません。

魁 ニュース

日の出が少しずつ早くなってきました。いまごろは1日に2分ずつ日中時間が長くなっていくそうです。関西では昔からお水取りがすむまでは春は来ないと言われていますが奈良の東大寺では修二会の行事がはじまり12日にはクライマックスのお水取りが行なわれます。百花の魁といわれる梅はどこも満開で南国からは菜の花や、えんどうの花が満開との便りが届いています。ここ数日は今冬で一番きびしい寒い日が続きましたが、春はもうすぐそこにきています。丁度1年前の魁ニュースで財テクばやりのこと、土地投機や株式投資の異常なことに触れましたが一年たった今、様子は大きく変わりました。連日不動産投資で資金ぐりに詰まった会社の倒産が報じられ、不動産価格も大幅に下落しております。株価は多少戻しておりますが、この勢いが持続するとは考えられません。汗をかかずにアラ稼ぎをすることにとがめがあるのは当然で、そんなことを奨励してきた銀行にそのトバッチリが来ているのも又当然のことです。本業で収益をあげるため努力することが繁栄への本道であることを銘記しなければなりません。日本の今日の繁栄の源泉を見失ってしまつては我が国の今後も極めて危ないものであります。理工系を卒業した学生が金融機関やサービス産業に就職する傾向が年々強くなってきていましたが、こんな現象は日本の将来を思う時困つたものと嘆かずにはおれません。新技術の開発や基礎研究に人材が来なくなつては国力の低下は避けられません。物づくりや研究開発が重視され評価されるようになり人材もおのずと集まるようになってこそ、日本の将来も明るいと言えますがはたしてそのようなことになっていきますでしょうか心配です。

☆ 3月の魁基準建値は372円/kgです

2月の電気銅建値は1～18日360円、19～28日370円で平均銅価は364円21銭でした。3月の電気銅建値は380円でスタートしました。従つて3月の魁基準建値は $(364.21 + 380) \div 2 = 372$ 円10銭で円未満切捨て372円となります。魁価格帯は前月同様350円超400円以下の価格帯で変わりません。

☆ 米産銅大手2社の銅相場予測

米AMM紙が全米の銅関係者を招いて開催したカパー・フォーラムでフェルプスドッジ社とマグマ・カパー社はともに今年の銅相場は1ドル台を堅持できると予測しました。それによるとフェルプスドッジ社は「銅相場が1ドル台を維持できるというのは多くの人々を驚かせるかもしれないが、現状相場はわずかに軟化しているだけで、10年前のような相場の大幅な下落はない」と見ている。

またマグマ・カパー社は「銅は慢性的な供給不足の状態、少なくとも9月まで相場が1ドル台の大台を切る可能性は少ない」と予測した。「米国とカナダを除くと銅の消費国の需給は慢性的に供給が不足している」と強調し「相場は大幅に下落する恐れは少なく、北米の産銅は輸出機会がさらに拡大していく」と期待しています。リセッションの報じられる米国の産銅大手の予想だけに注目すべきというところでもあります。因みに米国銅相場は本年に入り1ドル15セントから1ドル5セントの間を上下しており期近は1ドル10セント前後で比較的安定した相場です。湾岸戦争が始まってからも米国の戦略物資リストから外されている銅は全ったく反応せず為替の動きのみ反映した相場の動きとなっておりますが、湾岸戦争終了後の復興需要及び大量消耗された軍需品の補給特需など需要面の伸びが期待されますので今までとは違った相場の動きが見られる可能性が強くなってきています。

☆パレット返却のお願い

魁のパレットが空いておりましたらお近くの運送会社便で当社宛で返送下さいますようお願い致します。パレットの戻りが滞りますと生産にもさし障りが生じますのでご協力賜りますようお願い致します。

魁 ニ ュ ー ス

多くの若人が学校や会社へ期待と希望に胸ふくらませ新たな気持ちでスタートする日、私達も仕事の上で新たな気持ちで取組んでいきたいと思えます。

ちょうど2年前の今日から消費税が実施されました。最初はとまどいましたし、いまも1円玉の出し入れのたび抵抗感を覚えますが最近では反対運動も消えており選挙運動が地方選挙ということもあるのでしょうか2年前消費税反対を声高に唱えていた野党もとりあげておらず、すっかり定着したように思えます。慣れとはこわいものです。

本日付の日経新聞トップに「減速景気に粘り」の見出しで設備投資が省力化投資で前年同期比7.6%増(土地投資分を除く)と結構期待されること等が報じられています。私共の実感では本年に入り月を追うごとに荷動きが低調になり景気は確実に下降線を辿っていると思えます。住宅着工数も落ちておりバブル消滅の今日、当分回復も期待できないと考えられますが、はたして今よりさらにわるくなる心配はないのでしょうか。大企業のように多様な資金調達方法をもたない中小企業にとって高金利は大変な負担で手不足を解消するための手を打ちたくても打てないというところが多いと思えます。景気が冷えこみすぎない内に金利引下げをしてもらいたいものです。

☆ 魁 発 売 1 0 周 年 記 念 謝 恩 サ ー ビ ス 開 始

魁を発売して以来満10周年を迎えることができました。これもひとえに皆様の絶大なるご支援の賜物と深く感謝いたしております。心より厚くお礼申し上げます。

これを記念し感謝の気持ちをユーザー様に表したく、4月1日より本年12月末までチョコ吊り子をサービスさせていただきます。本日受注出荷する商品から魁のケースの中に本体0.3及び0.35厚のケースには0.3のチョコ吊り子を、本体0.4には0.35のチョコ吊り子を必要箇所同封しています。このチョコ吊り子サービスは銅一文字魁本体のみを対象としており、緑青製品及びカラスステン魁は対象になっておりませんのでご承知下さいますようお願いいたします。このサービスは実質8%~11%の値下げに相当するものでありますので期限を本年一杯に限らせていただきますが、この機会にご愛用者を広げて増販につないで下さいますよう皆様のご理解とご協力を謹んでお願い申し上げます

☆ 4 月 の 魁 基 準 建 値 は 3 8 5 円 / kg です

3月の電気銅は380円のまま推移し変動はまったくありませんでした。4月の電気銅は10円上がり390円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は $(380 + 390) \div 2 = 385$ 円となります。価格帯は350円超~400円以下で前月同様変わりません。

魁 ニ ュ ー ス

若葉のもえる新緑の季節、みなさんのゴールデンウィークはいかがでしたか。潮干狩、山菜採り、露天風呂、ハイキング、ゴルフ、テニス、読書或いは家のかたづけ仕事等それぞれに充実した休日をお愉しみになられたことでしょうか。

振替え休日で10連休になった人もかなりいたようですが大型連休ともなれば、財布の方はどんどんお足がとんで出て大変です。週休2日で充分満足している仕事人間は長く休みすぎて少々身体のけだるさをおぼえる連休明けです。

☆鉛被覆銅板「タフ・カパー」新発売

銅板の加工性と耐久性、鉛の耐酸性と重量感のある質感、それら両方の特性を兼ね備えた鉛被覆銅板「タフ・カパー」を発売することになりました。北米では50年以上も用いられている歴史ある米国工業規格ASTM・B101の建築建材です。

銅板は非常に耐久性のある素材と一般的に認識されていますが、酸性に対してはステンレスと同様に、腐食する場合があります。特に近年の酸性雨の影響は深刻な問題となっております。タフ・カパーは亜硫酸ガス・硫化水素ガスのガス試験においても殆んど腐食がないことが確認されています。硫黄酸化物の多い温泉地や、工場地帯等はもちろんのこと日本全域において最適な材料だと言えます。日本では1990年当社が米国より輸入し、兵庫県芦屋市立美術館（設計：坂倉建築研究所 施工：竹中工務店・永瀬建設共同企業体）の屋根、約270㎡に初めて使用されました。当社では「タフ・カパー」を未来志向の高級建築材料と位置づけPRに注力いたします。みなさまのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。詳細につきましては当社営業開発部、小林忠史・和田浩一郎又は当社担当者にお問い合わせ下さい。

☆5月の魁基準建値は388円/kgです

4月の電気銅価格は1～9日390円、10～18日380円、19～30日390円と推移し、平均銅価は386円66銭でした。5月の電気銅建値は390円でスタートしました。従って5月の魁基準建値は $(386.66 + 390) \div 2 = 388$ 円33銭、円未満切捨て388円となります。今月も魁価格帯は350円超400円以下の欄で変わりません。

魁 ニ ュ ー ス

平年より約1週間早く、1日に九州が2日に関東までの全域が一斉に梅雨入りになりました。之から日に日にあじさいが色濃く大きくなっていきます。

梅雨のけふ 田植ゑて みどり深くする (森澄雄)

四季のうつろいに恵まれた日本の自然は私達の生活に季節毎にさまざまな恵みをプレゼントしてくれます。梅雨の雨は樹や草やすべての植物の命の水でその成長に及ぼす力は凡庸なる私達の眼にもはっきりと見えてきます。又この雨はやがて来る猛暑をしのぐためにも大切なものですから嫌がらずに両手をあげて歓迎しなければなりません。しかし梅雨は別名霪雨ともいわれますほどこの季節は高い湿度のために「かび」ができやすくなります。眼に見えるかびはとり除けますが、私などは季節のせいではなく年のせいで頭にかびが生えてきているのを痛感しておりますが、之は簡単にとれるものではないからかきません。頭にかびが生えてるとは、思考が柔軟性にかけるとか、固定観念にとらわれているということさをさすものだと思います。昨今のように変化の激しい時代には最も具合のわるいことです。需要の頭うちに直面した業界、人手不足が齎らした人件費の高騰、休日の増加が拍車をかけ私達の経営環境を厳しくしております。後継者難で廃業されるところも増えております。秒進分歩の激動の時代、そして「かね」の値打ちがあるようなないようなわけのわからぬ時代、即成の考え方で理解できないことが一杯ある時代です。少しでも安く買って少しでも高く値売りすることに労力を使っているだけでは、なりたっていないのではないのでしょうか。先日ある講演会で「之からの経営に求められるもの」というテーマで話をされた講師は、改善、進歩、向上、発明(見)それらを総称すれば創意工夫とか創造といえますがその創造が大切である。それには勉強が必要だけど今までのやり方を全部否定して考えてみる、そして試してみることも創造を生み出す打出の小槌ですよ。皆さんの会社で社員の一人一人がそんな考え方で仕事を見直して行けばその中からすばらしい創造が生まれてくると力説されておりました。私もそれを聞いてそりゃそうだとその気になっていますが、さてそれを全社的に盛りあげていくにはどうすべきかと霪の生えた頭で思案投首というありさまです。どなたか私共に教えて下さいませんか。

☆ 6月の魁基準建値は360円/kgです

5月の電気銅建値は1～14日390円、15～18日370円、20～31日360円(但し1～6日は休日として計算対象外)で推移し平均銅価は371円05銭でした。6月の電気銅建値は350円で始まりましたので6月の魁基準建値は $(371.05 + 350) \div 2 = 360$ 円53銭となり円未満切捨て360円丁度になります。魁価格帯は前月同様350円超～400円以下の価格帯で変わりありません。

魁 ニュース

つゆの晴れ間はむし暑く、まだ暑さになれていない身体には随分こたえます。しかし、この季節は畠の野菜類は目を見張るほど成長し色鮮やかにつやつやした光沢で実りをつけています。昆虫類の活躍も活発で蛹から羽化したいろいろな蛾が蜘蛛の網にかかっているのを見ます。

カマキリ・セミ・カブトムシ・バッタ e. t. c, 彼等もこれからどんどん登場してきます。昔はそのひとつに蛍がいました。残念ながら環境破壊が進み今日では滅多に見られなくなっています。蛍の幼虫はカワニナ（きれいな水の川に棲む小さな貝）を食べて成長するのですが水質汚濁でカワニナも減ってしまったのでしょうか。最近ホタルが自然発生する自然環境の保全や再生に力ををを入れているところもあるようですが、どこでも夏が来ると見ることの出きた蛍の光も今では限られたところでしか見ることができなくなり寂しく思います。

「蛍の光」という卒業式などによく唄われる歌がありますが、この唱歌は明治14年の小学唱歌集に「蛍」の題名で収められたのが最初で、のちに「蛍の光」と改題されたようですが原曲はスコットランド民謡で作詞者ははっきりしていませんが「蛍の光窓の雪……」の歌詞と共にそのメロディーは知らぬ人のいないところでしょう。

「蛍の光窓の雪」は「蛍雪の功を積む」という言葉に基づいたもので中国の故事から出ています。晋の車胤が貧しくて油が買えず夏は蛍を集めて袋に入れその光で書物を読んだという話と、同じく貧書生の孫康が雪明かりで勉学したという話から勉学にいそしむたことになっています。来春大学受験を目ざす浪人や高校生にとっては今がまさしく蛍雪の時です。特に暑さと戦うこの季節の過ごし方が大切で天下わけめの時といっても大げさではないでしょう。蛍の話から脱線しましたが私達も気合いを入れて暑さを吹きとばし仕事に精を出しましょう。皆様のご健闘を祈ります。

☆ 7月の魁基準建値は358円/kgです

6月の電気銅建値は1～11日350円、12～30日360円で推移し平均銅価は356円50銭でした。7月の電気銅建値は360円でスタートしました。従って7月の魁基準建値は(356円50銭+360円)÷2=358円25銭となり円未満切捨て358円となのです。魁基準価格帯は350円以上400円未満の欄で今年の11月以降引き続き変わりません。

魁 ニュース

顔をあわせば「暑いですナァ」がつい口に出る猛暑が続きましたが、今年の夏は早く終わりそうな気配を感じる今日この頃です。7月下旬赤トンボがとんでるのを見た人もおられます。赤トンボは初秋の風物だと思うのですが、彼等は早や自然の変化を敏感に感じとっているのかも知れません。

1億総グルメ時代といわれテレビ番組にもうまいもの食べ歩きの如き番組が増えています。ルンペンにも糖尿病患者がおるといふまさに飽食の時代ですが、先日マグロ禁漁運動がアメリカで行なわれていると聞きました。ご高承の通り鯨はすでに捕獲禁止の国際協定が実施されておりますが、鯨のように一頭しか出産しない動物と違ってマグロは多産であり絶滅寸前とは聞いていませんから、なぜ今マグロを禁漁にせよという運動が起きてきたのか理解できません。多分に日本バッシングのやらせではないかと想像するのですが中華料理の高級材料であるフカヒレ（意外や、日本はフカヒレの最大手輸出国なのです）だけをとって残りは海上投棄をするような日本の漁業の操業ぶりがテレビで放映されひんしゆくを買っているのを皆さんご存知ですか。やってる当事者は価値のないものを処分するのは当然と考えてしていることなのでしょうが、広い世界にはフカを珍重している民族もあり、又棄てるのなら最初から獲らなきやいいのにとと思うのが当り前の常識でしょう。自然環境の保獲が国際的な世論になってきている今日、資源を輸入し加工して製品を輸出する日本がその資源の恵みをもたらす自然の秩序を破壊しないよう考え行動していくことが大変重要な課題になってきているように思います。

戦争に敗れ荒廃した国土が45年余、信じられぬほどの今日の姿になったのはヒトという資源に恵まれたことなど色んな要因が考えられますがやはり運が良かったからと謙虚に感謝しなければならない。それが実力によるものと勘違いして金儲け主義に走りすぎているのではないのでしょうか。パブルが発生しそれが崩壊しているのも金儲け第一主義が齎した現象といえるでしょう。銀行や証券会社が暴力団と巨額の取引をすることも金儲け主義に走っているから起こってくることです。はるか南の国より森林資源を残してくれと陳情団が来る日本、今のままではアメリカから叩かれるだけでなく世界の国々から侮蔑される国になりはせぬかと案じられます。勤勉は美德、その結果富者になってもおごることなく素封家の如く自らは儉約を忘れず、ここという時には貧困の人や恵まれぬ人にその財を施すそのような国にならねば、私達の子孫の代までこの繁栄が続くとはとても思えないのです。

☆ 8月の魁基準建値は352円/kgです

7月の電気銅建値は1～15日360円、16～31日350円で平均銅価は354円78銭でした。8月の電気銅建値は350円でスタートしました。従って8月の魁基準建値は $(354.78 + 350) \div 2 = 352$ 円39銭となり円未満切捨て352円となります。魁価格帯は350円超～400円以下となり前月同様変わらずです。

魁 ニ ュ ー ス

8月後半に入って平年並の暑さに戻りましたが日毎虫のすだく音を大きく強く聴くようになり秋の夜の近きを感じずる今日この頃です。

平成景気の終焉を物語るが如く不動産会社の大型倒産、尾上縫個人への莫大な融資、証券会社のダーティーな取引など次から次とバブルがはじけています。はじけがおさまるまで融資規制もゆるまないだろうし金利も低金利といえる水準になりそうもなく、住宅建設も設備投資も低水準が続くことでしょうか。虫の音の一入寂しく感ずる秋になるのでしょうか。

☆鉛被覆銅板「タフ・カバー」を ご存知でしょうか。

アメリカで50年の実績がある商品で、当社が日本での輸入総発売となりました「タフ・カバー」は銅板の両面を鉛でコーティングした鉛被覆銅板の商品名です。従来の銅板では耐蝕性に不安を感じるような用途にお勧めできます。海岸沿い、温泉地、大気の悪い工場地帯などに鉛の優れた耐酸性が威力を発揮いたします。内樋、谷樋にもぴったりの素材です。価格は緑青銅板とほぼよく似た価格です。

在庫サイズは コイル 0.4 × 457 × 25m 又は 大コイル

 " 0.4 × 610 × 20m 又は 大コイル

 板 0.5 × 914 × 2438

詳しくは当社営業開発部、小林、和田までお問い合わせ下さいませよう願致します。

☆9月の魁基準建値は355円/kgです

8月の電気銅建値は350円で終始しました。9月の電気銅建値は10円上がり360円でスタートしました。従って9月の魁基準建値は $(350 + 360) \div 2 = 355$ となります。価格帯は前月同様変わりません。

魁 ニュース

19号台風は九州を北上し日本海沿いにほぼ日本全土を従断するコースを辿りましたが雨より暴風が各地に多大な被害を及ぼしたようです。被害をうけられたところでは、まだ復旧に手をとられて難儀しておられるところもあろうかと存じますが心よりお見舞い申し上げます。電力や通信施設に影響を受けた所が多ようですが、停電になって初めて始めて電気の無い生活がもはや考えられなくなっていることに改めて気付くものです。戦後しばらく停電は日常茶飯事でどこの家庭もそれなりの備えをしていました。電化製品もラジオ、アイロン程度で、停電してもそれほど困ることもありませんでしたが、今日では炊飯器から冷蔵庫、テレビありとあらゆるものが電気製品で埋まるほどですから困惑の程度が違います。通信や情報関連にも混乱が生じているようですが、高度化された社会ほど自然の脅威に弱いとも云えましょう。

いざなぎ景気の57ヶ月に8月で並びそれを越すというのが経企庁の発表ですがどうもピンと来ません。6月頃からはっきり下降線に入っていると実感しているのでお役人の点数かせぎ的なこじつけのように思えてなりません。どうも経企庁は無理矢理戦後最大の大型景気にしたいようです。大型であり而もバブルな部分がありにも大きかったため、その反動は大きくこのバブルの整理にはまだまだ引締めを続けていかねばなりませんし、そうすると不況が長びく。かといって緩めればバブルな部分が息を吹き返してしまうかも知れない。そのへんのカジ取りが極めてむつかしい所に来ていると言えます。

☆ 10月の魁基準建値は360円/kgです

9月の電気銅建値は360円で開始しました。10月の電気銅建値は変わらずで360円で始まりましたので10月の魁基準建値は $(360 + 360) \div 2 = 360$ 円となりました。価格帯は不変350円を超え400円以下の欄です。

☆ 空きパレットご返却のお願い

魁専用のパレットが不足しております。毎年補充しておりますが回収が滞りますと生産にも障害がでて大変困っております。空いたパレットは最寄りの運送便で着払いで即刻ご返送下さいますようお願い申し上げます。又少量しか入っていないパレットはご面倒でしょうが空けていただいてご返送下さいますようお願い申し上げます。

魁 ニュース

今年の19号台風は大型の風台風で日本列島を従断し広い範囲に大きな被害をもたらしました。その復旧のため色んな職種が超繁忙を極めていと聞き及んでいます。鉄鋼二次製品や化成品を扱っておられるみなさんの会社もさぞや悲鳴をあげるほど連日忙しくアツというまの10月であったと拝察いたします。10月26日付の日経新聞「お茶の間の天気図」で気象庁の先生が発表している記事によると、「大型台風が強い勢力を保ちながら日本列島に襲来する頻度が高い期間に三十数年の周期がある。ここ二十数年の静穏な時期は終わり、危険性が増大してきている」と猛烈台風襲来期間の再来の危険性を指摘しています。昭和29年の洞爺丸台風、33年の狩野川台風、34年の伊勢湾台風、36年の第二室戸台風とこの7年間は大きな被害をもたらした最悪の台風襲来期間でありました。九州西海上を北上し日本海に抜け九州から北海道まで暴風雨に巻き込んだ昭和62年の台風12号を序章として昨年の19号、今年の19号と大型台風の襲来が相次いでおり、之からも大いに警戒しなければならぬのではと提起しております。実際にその被害に遭うのは誰しも嫌なことですが相手が台風という自然現象ですから全ったく予断できません。備えあれば憂いなし、今一度火災保険の見直しをされたらいかがですか。風による建物及び建造附属物の損傷は火災保険で補償を受けることができます。床上45cm以上の浸水は総合保険で補償されます。被害はないのにこしたことはありませんが、万が一ということがありますし、又魔除けにもなることですから適正な保険がかかっているかどうか今一度見直されることをお勧めいたします。

大紅葉 もえあがらんと しつつあり (高浜虚子)

朝夕は少々冷え込むころとなりました。山野が美しく色づく季節です。寂しさをおぼえる季節でもあります。本年もあと僅かとなってきました。風邪などひかれませぬようご自愛下さい。

☆ 11月の魁基準建値は356円／です

10月の電気銅建値は1～7日360円、8～31日350円で平均銅価は352円27銭でした。11月の電気銅建値は360円でスタートしました。従って11月の魁基準建値は $(352.27 + 360) = 356$ 円13銭、円未満切捨て356円となりました。価格帯は前月同様350円超400円以下の欄です。

☆ 空きパレットご返却のお願い

魁専用のパレットが不足しております。毎年補充しておりますが回収が滞りますと生産にも障害がでて大変困っております。空いたパレットは最寄りの運送便で着払いで即刻ご返送下さいますようお願い申し上げます。又小量しか入っていないパレットはご面倒でしょうが空けていただいてご返送下さいますようお願い申し上げます。

魁 ニュース

1991年は内外ともに激動の年でありました。

海外ではまず筆頭にあげられることは、一極の頭領であったソビエト連邦の凋落であり混乱であります。経済社会で言えば超大型倒産でありその影響の及ぶところ極めて大であります。OECD諸国も再建への支援に積極的に取り組む意向を表明していますが肝腎のソ連邦は再建への新体制が未だはつきりせず融資を見合わせざるを得ない状態で再建が軌道にのるのはまだ遠い先のことのようにあります。

米ソ二大国覇権体制により保たれてきていた世界秩序はその一つが崩壊したことにより今後様々な問題にどのような影響が及ぶのでしょうか。民族や宗教上の紛争が多発し収拾できない時代に入っていくのではないかと心配されます。国内ではまず第一に大型景気の終焉でありバブル経済の後遺症の数々であります。後手しか踏めない行政に適切な対処が期待できない以上、山高ければ谷深しの自然の摂理が想像されます。何も出来なかった海部内閣が退陣し宮沢内閣がスタートしましたがどんなカジとりをして行かれるのやら私達はただジッと見守るだけであります。

一年の終りを迎えるに当たりこの一年賜りましたご愛顧に深く感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎え下さいませようお祈り申し上げます。

☆ 12月の魁基準建値は355円/kgです

11月の電気銅建値は1ヶ月間通して360円でありました。12月の電気銅建値も350円で始まりました。従って12月の魁基準建値は $(360 + 350) \div 2 = 355$ 円となります。価格帯は350円超え400円以下の欄で変わりません。

因みに1991年は1年間を通してこの価格帯で変わらなかったこととなります。

海外銅相場が低水準で安定していたこと及び為替相場の振幅が小さかったことが原因として考えられます。

☆ 魁全製品価格改訂について

発売10周年を記念してチョコボ吊子サービスを行なって参りましたが期限後も引続き実施するようご要望があり、92年1月以降も吊子をつけるようになりました。又、近年の物流コスト梱包費の上昇などもあり、発売以来据え置いてまいりました価格の改訂をやむなく1月21日よりお願いすることといたしました。何卒事情ご覧察の上ご理解賜りますますようお願い申し上げます。新価格表は12月中旬皆様のお手許にお届け申し上げます予定でございます。主な改訂内容を下記に列記いたしますが不明瞭な点につきましては当社担当者に御尋ね下さいませようお願い申し上げます。

1. 銅一文字魁 350超～400円以下の価格帯では最小6%、最大12%、平均8%のupとなります。

2. ステンー文字魁 1月21日より吊子がつきます。
平均13.8%のupになります。
3. 緑彩 魁 350円超～400円以下の価格帯では最小7%, 最大14%, 平均9%, のupとなります。
1月21日より吊子がつきます。
4. 硫化 魁 350円超～400円以下の価格帯では最小6%, 最大11%, 平均6.8%, のupとなります。
1月21日より吊子がつきます。
5. センターのピッチが 従来は1コマだけ15mm短くなっていましたが、1月21日出荷分より本体右山・左山同様にピッチを統一いたします。
6. S型廃止 ご用命の少ない商品でありますので廃止させていただきます。
7. 緑彩 魁 152型・182A型・303B型及び化粧唐草25・30・折り下げ化粧唐草は上記と同じ理由で廃番になります。
8. ステンレスー文字魁 152型は廃番になります。

工事店向け価格改訂お願いのチラシを同封しております。 12月請求書発送に同封する等、価格改訂のことを工事店様に早目にお知らせ下さるよう併せてお願い申し上げます。

☆第3回建築仕上げフォーラム

(幕張メッセ)

12月12日(木)～15日(日)開催

入場券を同封お送り申し上げましたが、当社は小間C-16でタフカパー(鉛被覆銅条)を中心に出品しております。次代の建築を洞察する上では見応えのある展示会でありますので、是非、ご高覧下さいませようご案内申し上げます。

☆パレット実態調査ご協力のお願い

商品がお客様へ完全な荷姿でお届けできるように大量品の発送に専用パレットを使用しておりますことは、ご高承のことと存じます。

又、その返却については皆様にお手数をわずらわしご協力をいただいております心より感謝いたしております。

このたび、魁パレットの実態調査をおこなうにつき、お忙しいところ恐縮ですがお調べの上、返信用ハガキにご記入ご回答下さいますようお願い申し上げます。